

◆◇◆節分◆◇◆

おにはそと ふくはうち
ぱらっ ぱらっ ぱらっ ぱらっ まめのおと
おには こっそり にげていく

おにはそと ふくはうち
ぱらっ ぱらっ ぱらっ ぱらっ まめのおと
はやく おはいいり ふくのかみ



●明日は「節分」。

「節分」と言えば2月、が当たり前ではないようです。

本来の意味を考えると「節分」は年に4回あることとなります。

「節分」とは、季節の節目である「立春」「立夏」「立秋」「立冬」の前日のこと。

漢字の通り「季節の分け目」の日という意味なので、それぞれの節目の前日は全て「節分」。

ではなぜ2月の「立春」の前日のことだけが「節分」と意識されるようになったのかその理由を調べてみると、

旧暦では春から1年が始まるとされていた。

そこで「立春」の前日である「春の節分」が大切とされ、今では「春の節分」＝「節分」という認識が広まった。

とありました。

●季節の分かれ目、特に年が変わる「春の節分」には邪気が入りやすいと言われていました。

そこで一年間の平穏無事と邪気を祓う意味を込めて始まったのが「豆まき」。

子どもたちの健やかな成長への願いを込めながら明日の給食「節分豆」をいただきます。